

北海道における平成29年産雑豆の 生産状況について

(公財) 日本豆類協会

平成28年産雑豆の生産実績

平成28年産雑豆類の作付指標面積は、小豆19,000ha、いんげん8,630ha（うち金時6,000ha、手亡1,800ha）に設定されましたが、平成28年産の作付面積は、農林水産省の発表によると小豆は前年に比べ5,700ha減の16,200haでした。また、いんげんは前年に比べ1,610ha減の7,940haで、うち金時は前年に比べ90ha減の6,170ha、手亡は1,520ha減の1,200haでした。

平成28年産の生産量は、天候不順と台風等による被害により、小豆では、10a当たり収量が大幅に減少したため、前年比46%の27,100tとなりました。また、いんげんについても、10a当たり収量が大幅に減少したため、前年比22%の5,480t（うち金時は79%減の3,150t、手亡は81%減の1,600t）と、いずれも前年産に比べ大幅な減収になりました。

平成29年産雑豆の作付指標面積

北海道では、雑豆生産の維持及び適正輪作推進のため、JA北海道中央会が、毎年度作付指標面積を策定し、それに基づいた計画生産に取り組んでいるところです。

平成29年産畑作物作付指標面積は、28年産同様、「輪作体系の確立により安全・安心で高品質な畑作物の安定生産を図る」ことを第一義とした指標設定とし、台風等自然災害により29年産の作付状況が大きく変わらざるを得ない産地、また、輪作体系のあり方を再度検討しなければならない産地があることも想定されることから、「29年産作付意向面積」を基

表 北海道における豆類の生産状況（単位：ha,kg/10a,t）

区分	作付面積			収量		収穫量			作付指標面積(注)	
	27年	28年	増減	27年	28年	27年	28年	増減	28年	29年
小豆	21,900	16,200	△5,700	272	167	59,500	27,100	△32,400	19,000	20,000
いんげん	9,550	7,940	△1,610	260	69	24,800	5,480	△19,300	8,630	9,100
うち金時	6,260	6,170	△90	241	51	15,100	3,150	△11,950	6,000	6,450
うち手亡	2,720	1,200	△1,520	309	133	8,400	1,600	△6,800	1,800	1,800
雑豆合計	31,450	24,140	△7,310	—	—	84,300	32,580	△51,700	28,170	29,550
大豆	33,900	40,200	6,300	253	205	85,900	82,400	△3,500	35,000	38,870
合計	65,350	64,340	△1,010	—	—	170,200	114,980	△55,220	63,170	68,420

資料：農林水産省統計部「平成28年産大豆、小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の収穫量」等による。

(注) 作付指標面積の雑豆合計にはえんどうを含む。

礎に、各作目を取り巻く需給情勢ならびに各種農業諸制度を踏まえた指標設定としました。

この結果、平成29年産雑豆類の作付指標面積については、各作目を取り巻く需給情勢を踏まえ、小豆20,000ha、いんげん9,100ha（うち金時6,450ha）に設定されました。

平成29年産雑豆の生育状況

北海道庁では、営農指導を的確に行うため、5月15日から10月15日までの間、毎月2回、農作物の生育状況を調査した結果を公表しており、雑豆の生育状況は以下のとおりです。

(6月1日現在)

5月の後半は、発達した低気圧の影響でぐずついた日があったものの、期間を通じては高気圧に覆われて晴れ日が多く、夏日を記録した日もあった。気温は平年より高く、降水量は平年少なく、日照時間は平年並となった。5月全体としては、高気圧と低気圧が交互に通過した影響で天気・気温の変動が多い月となった。

小豆のは種作業は、ほぼ平年並みに終了した。

菜豆（金時）のは種作業は、平年並みに進んでいる。

(7月1日現在)

6月の気象は、上旬と下旬に雨の日が多く、記録的な多雨となった。また、気温は、月の前半に気温の高い日があったものの、平年並みとなった。

小豆の生育は、平年並みに推移している。

菜豆（金時）の生育は、は種作業後の低温や日照不足の影響でやや遅れている。

(8月1日現在)

7月の気象は、低気圧や前線からの湿った気候の影響で、まとまった雨を観測した日もあったが、高気圧の張り出しの中であって晴れた日が多くなった。気温は、上・中旬に各地で真夏日や猛暑日を観測し、かなり高くなった。降水量は平年並。日照時間は、かなり多くなった。

小豆の生育は、平年並みに推移している。

菜豆（金時）の生育は、平年並みに推移している。



エリモ小豆（8月9日撮影）



大正金時（8月9日撮影）